

SGH特別講座 「EUがあなたの学校にやってくる」を行いました。

2017年11月10日7時間目に、5年生を対象にSGHの特別講座として、駐日欧州連合代表部と在日EU加盟国大使館が全国の高等学校を訪問して行っている「EUがあなたの学校にやってくる」を昨年度に引き続き開催しました。

今年度は、ベルギー王国大使館から公使参事官/次席代表であられる、ヴァルゲイレン・イエルーン(Jeroen Vergeylen)先生がいらして英語で講演をしていただきました。講演では、EUが過去の大戦の反省から欧州の平和を目指して誕生したこと、現在では「多様性の中の統合」を理念に掲げ、言語・文化・宗教を超えて多くの欧州諸国が協力・連携していることを説明していただきました。また、本国のベルギーについては、日本でもなじみのあるベルギーチョコやベルギーワッフルといった食文化や、日本との関係について話していただきました。

講演後には、英語による質疑応答の時間をもつことができ、生徒からは「EUという世界にも影響力のある地域連合として、世界の超大国とどのようによりよい関係を築いていくことが大事だと考えていますか？」という鋭い質問に対して、「考え方など様々な面で自分たちとは異なる国もあり、よりよい関係を築くことは容易いことではないけれど、話し合いの場を絶やさず、EUが理念に掲げている『多様性の中の統合』がより良い世界を構築していくことにつながる」と、一国の代表として、EUの代表として真剣に答えていただきました。

以下に講演を受けた生徒のアンケート結果をまとめました。

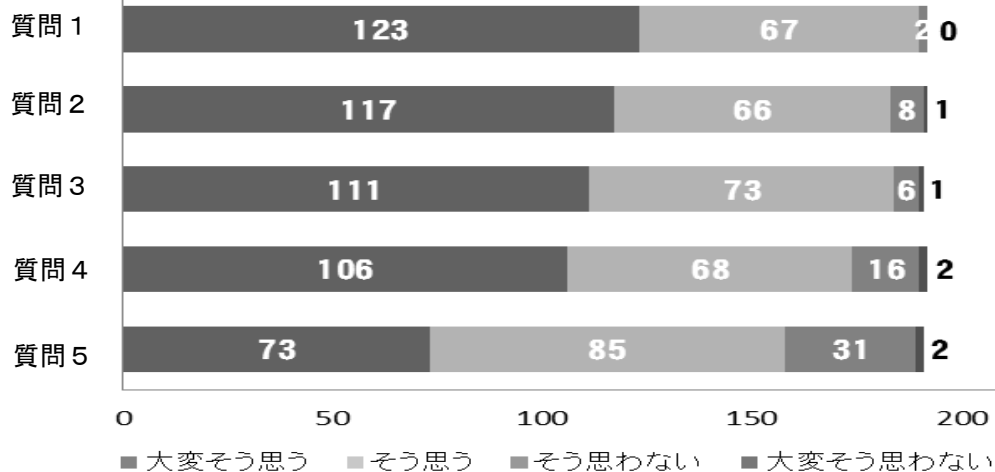


質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. EUやベルギーについて興味が強くなった。
3. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。
4. EUやベルギーに限らず「海外に行ってみよう」という気持ちが強くなった。
5. 今回のような海外との交流があったら積極的に参加したい。

集計結果

*総数195



自由記述 講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

○ “union in diversity” という言葉が非常に深く印象に残っています。多様な民族が集まるヨーロッパで、その多様さ故に何度も戦場となってきたベルギーの歴史的背景を踏まえながら、EUの成立を語ってくださった講師の思いが言葉に凝縮されていたように思いました。民族が違い、また経済力も違い、信じる宗教も違い…そんな中で団結することは意見が対立することも多いだろうし、非常に難しいものであろうことは、現在のイギリスのEU離脱を巡る問題からもうかがえることです。でも、やはり平和に暮らしていくためにもEUがいつまでも存続すべきだと思います。また、このようなEUの素晴らしい理念を目にして、いつ



かヨーロッパだけでなく地球全体が1つになれたらいいと思いました。

○EUは戦争を起こさないように平和にするための組織であることを知り、とても素晴らしいと思いました。国境をなくし、人やモノの動きを活発にすることも経済的にいいことであり、世界的に広まればいいと思いました。EUのように、多様性を世界中で認め合って、世界がヨーロッパのように平和になってほしいと思いました。

○ベルギーやEUについて詳しく知ることができた。戦争という大きな反省を活かして、EUを作ることで、対話をもとに色々な面で協力し、成長しているヨーロッパ諸国はすごいと思った。国境が無く、自由度が高い魅力的なものだとは思っていたが、しっかりと成立理由などを知ることができたてよかった。日本とEUの今後にも興味を持てたと思う。

○日本と全く違う文化圏で、全く感覚の違う仕組みが行われているのはとても興味深いと思いました。「協力する」という理念のもと、様々な取り組みが行われているのは素晴らしいと思います。EUの中で他にはどんな取り組みがあるのか、まだどのような問題があるのか興味を持つことができました。EUやベルギーに限らず、いろいろな国や地域のことに興味をもって生活していきたいと思いました。



○EUという組織の考え方は、全て前向きであると感じた。それは、EUができた理由が大きく関係していることに気づいた。EU加盟国全てが上手く協力できるようなシステムになっているのを知り感心した。これから自分は色々な組織に所属し続けるはずであるから、今日学んだEUのシステムで取り入れられる所があれば取り入れてみたいと思った。



○EUについて深く知ることは今まで無かった。英国が脱退しようとしていることや、通貨が統一されたことなどは漠然と知っていたが、こんなにもEUが平和に貢献していることは今回初めて知った。一つのまとまりになっても、公用語は多数あり、互いの文化を尊重する姿勢を感じた。様々な文化が混ざり合うからこそ、とても味のある面白い一つの連合体を形成しており、大学生になったらぜひ行ってみたいと思った。対話こそ大事という先生の言葉はとても心に響いた。日本でも周辺国との状況が緊迫している中、重要なキーワードであると思った。

○今まで新聞やテレビなどでただ「EU」という言葉について、見たり聞いたりすることしかなかった。しかし、今日の話聞いてみて、日本と色々な面・分野でつながっていることが良く分かった。EUの国々との協力への姿勢や平和への取り組み・考え方がとても気に入った。日本と少し似ているところもあるように思った。また、外交官という仕事や通訳という仕事も見ることができて興味の幅や世界を見る目が広がった貴重な経験だった。

○いままでEUという言葉は社会で学ぶ言葉の1つくらいの認識しかなかったけれど、実際に様々なお話を聞いて、EUがぐっと具体的な形を持って見えるようになりました。ただの経済的な協力のためのものだと思っていたのが、もともとは戦争をやめたいという意図からだったというのにはとても驚きました。このように、よく知らないことも、実は…という話がたくさんありそうなので、自分でもっと調べてみたいです。

○EUについてこんなに詳しく学べる機会は今までなかったので、非常に貴重な体験でした。今回のお話を伺ってEUと日本の深い関係性を学びました。研究などイノベーション技術を通してよりよい関係・世界を築き上げていることや留学を通していろいろなことを学ぶことなど、協力することのメリットはとても多いようです。ぜひ、EUと日本の関係を推進してほしいです。また、私は英国のEU離脱についての意見を伺えてよかったなと思います。日本国内での意見や英国国民の意見だけでなく、EUがそれをどう捉えているのかとても興味深かったからです。様々なコストはかかるかもしれませんが、人々の交流や平和のためにEUはとてもおおきな役割を担っていることを多くの人々に理解してほしい。

